

# BLVから大切な牛を守りましょう

## 牛伝染性リンパ腫(牛白血病)の基本情報

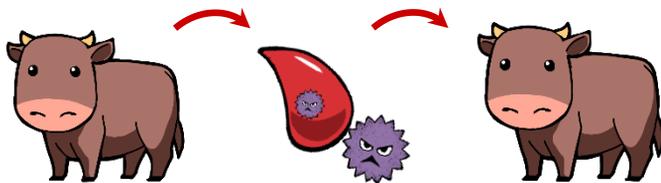
### ～概要～

牛伝染性リンパ腫は牛伝染性リンパ腫ウイルス（BLV）によって引き起こされる疾病です。本ウイルスに感染した牛のうち、2～3%が数カ月～数年後に発症します。発症した牛は予後不良となり、治療もできません。

感染した牛は発症しなくても生涯ウイルスを持ち、他の牛へ感染を広げる感染源となり続けます。

### ～感染経路～

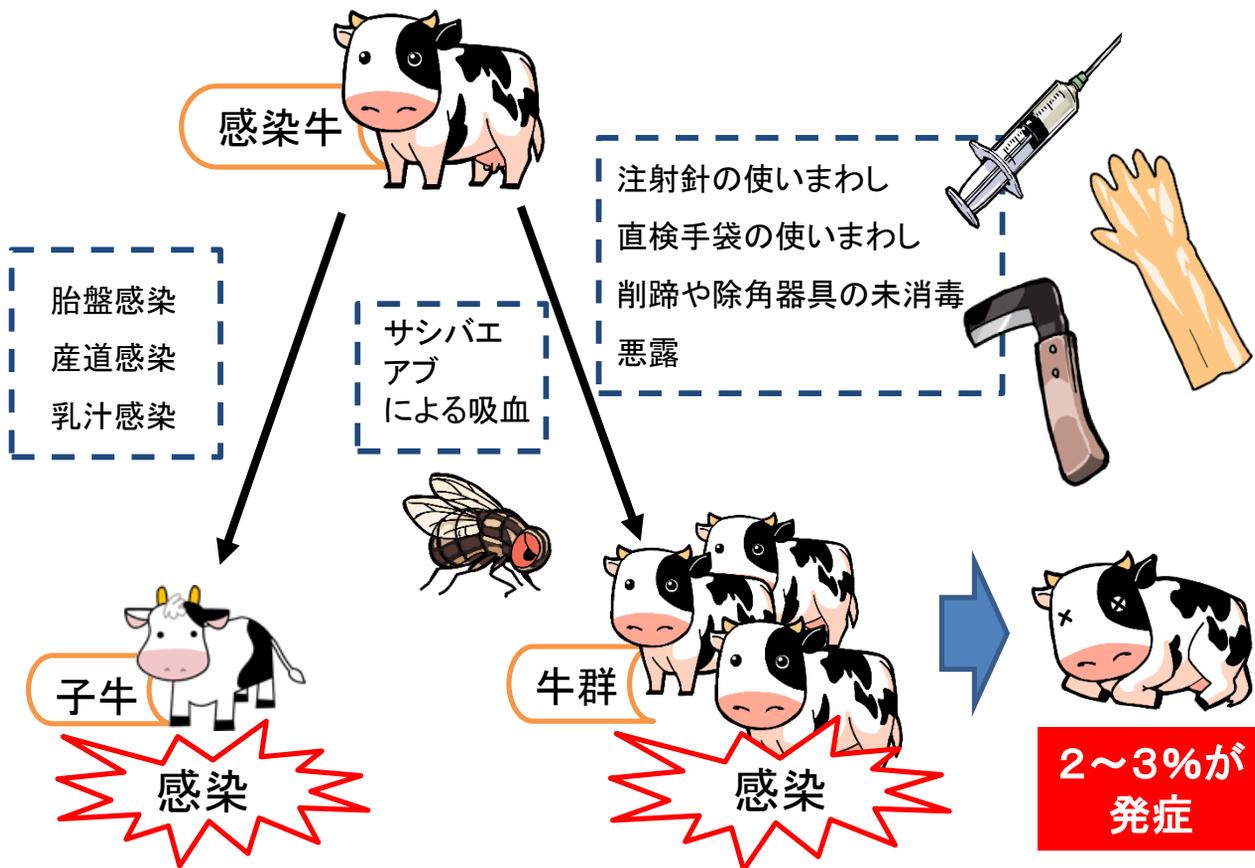
感染牛の白血球内にウイルスが存在し、血液、乳汁などを介して非感染牛へ感染します。



目に見えない血液量でも感染するといわれています

主な感染経路は次のとおりです。

- ・母牛から子牛への感染経路…胎盤感染、産道感染、乳汁感染
- ・牛群内での感染経路…作業者による感染、吸血昆虫による感染



岐阜県中央家畜保健衛生所

〒501-1112 岐阜市柳戸1-1  
TEL : 058-201-0530  
FAX : 058-201-0531

対策については裏面→

# 対策方法

おもて面で紹介した感染経路を絶つことが対策につながります。  
具体的な対策方法は次のとおりです。

## 1 初乳の低温殺菌

初乳中にもウイルス感染白血球が含まれているため、子牛への感染源となります。初乳を凍結させるか、56℃30分処理することで、ウイルスを殺すことができます。

## 2 血液の付着している器具類の消毒、使い捨て

使用后、牛の血液が付着している可能性のある器具は一頭ごと消毒後使用するか、使い捨てにします。（逆性石鹼やアルコールなど様々な消毒薬で効果があります。）

## 3 サシバエ・アブ対策

サシバエ、アブなどが牛を吸血した際、口器に血液が付着し、そのまま他の牛を刺すことで感染が広がります。

### (1) 防虫ネット

2mmメッシュのネットを牛舎に張ります。

※牛舎内の空気の流れが悪くなる可能性がありますので、暑熱対策と組み合わせて実施してください。

ネットを斜めに張ると雨がホコリを落としてくれます



### (2) 成虫対策

粘着トラップの設置や殺虫剤をまきます。

ピンと張れば牛がネットで遊びません

### (3) 幼虫対策

サシバエは牛舎内の湿った場所（牛床の糞の残りやウォーターカップ下など）に産卵します。そこを狙って昆虫発育阻害剤（IGR）をまきます。

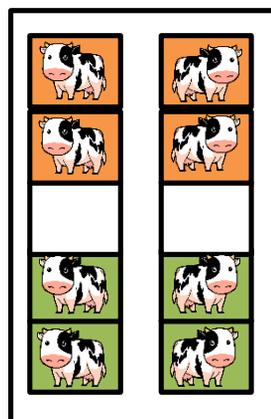
## 4 分離飼育

陽性牛群と陰性牛群とで分け、離して飼育することで、サシバエなどによる感染の広がりを抑えることができます。

牛群の間に空きをいくつかつくり、可能な限り距離をとります



サシバエが陽性牛を刺し、次の牛へ移動する間に口器についたウイルスが乾燥して死滅するため、2~3m以上距離をとることが有効になります。



陽性牛群

陰性牛群

## 5 陽性牛の早期淘汰

農場内の陽性率を下げるため、陽性牛を優先的に淘汰します。

岐阜県畜産協会では対策の為の補助金事業を行っています。  
（ネット、忌避剤、淘汰促進等の費用の一部助成）  
詳しくは中央家畜保健衛生所にお問い合わせください。